

事業所名

アースバニラ

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7 年

3 月

20 日

法人（事業所）理念	子ども達が明るい未来へ羽ばたいて行ける様に個々の特徴に合わせた支援を提供致します。							
支援方針	子供たちの【こころ】と【からだ】の成長を促し、自分らしく生きていくための【ちから】を育みます							
営業時間	9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人 支 援	健康・生活	・子供たちの健康状態を把握し（検温、表情、様子等）を把握し、情報共有する事で、迅速に対応しています。						
	運動・感覚	日々の幅広いイベント企画を通して、楽しく身体を動かしたり、考えたりすることで、運動能力、脳の活性化に繋がっていきます。（工作、ボール遊び、クッキング、外出活動等） 工作やクッキングでは、道具や器具を使うことによって手先の機能向上、色々な工程での役割分担を行う事での集団でのルールや約束などを守る事を学ばせたり、想像力、発想力等を伸ばし、視覚、聴覚、触覚、等の感覚を育む支援を行います。						
	認知・行動	・得意な事を伸ばす為に、宿題や教材等を通して、継続的な学習支援、また、学習や生活の中での目標を設定してチャレンジさせる事で、成長に繋がられるように支援します。						
	言語 コミュニケーション	・自分の思いや考えを言葉で伝える事が出来るように、支援員、利用者同士でのコミュニケーションをとる中で観察し、その子の要求したい事などを読み取り、話しやすい環境を意識して、日々の活動を通し、練習、支援を行います。						
	人間関係 社会性	色々な場面での人との関わりで、相手の気持ちを察した言動や、自分の意思、意見を伝える、周りの幸福を尊重したり、空気を読んだりと色々な経験を通して個々の成長に繋がるように支援していきます。（挨拶、ルール、マナー、常識、礼儀、感謝、謝罪等）						
家族支援	・家庭の状況と要求を鑑み、必要に応じ、延長支援を行います。 ・子供の発達上の課題について気づきを促し、保護者との情報共有、連携して、その後の支援に活かします。				移行支援	具体的な移行を想定した発達の評価を行い、保護者の意向確認や情報共有を行うと共に、学校や関係機関との連携を図り、適切な支援体制を構築して行きます。		
地域支援・地域連携	・学校や相談支援事業所、市区町村の福祉課と連携を図り、可能な限り情報共有すると共に適宜、補足支援会議を実施します。				職員の質の向上	・社内での定期的な学習会、外部研修などを通して、専門的なスキルアップ、資格取得等につながるように職員の資質向上に努めていきます。		
主な行事等	・季節行事/お正月、節分、ひな祭り、七夕、プール、お月見、クリスマス会等 ・その他行事/避難訓練、お誕生日会等							